

Epson Scan 2 取扱説明書

Last modified : 2021.5.14

目次

1. 使用許諾契約 (使用条件)	3
2. ソフトウェア概要	4
3. サポートについて	5
4. 注意/制限事項	6
5. インストール/アンインストール方法	7
5.1. ソフトウェアのインストール	7
5.1.1. スクリプトによる自動インストール	7
5.1.2. コマンドによるインストール	7
5.1.3. パッケージマネージャによるインストール	8
5.1.4. ソースからのインストール	9
5.2. インストールする際の注意	9
5.3. ソフトウェアのアンインストール	11
6. 画像取り込みの流れ	12
7. Epson Scan 2 の起動	13
7.1. コマンドからの起動	13
7.2. メニューからの起動	13
8. スキャナーの選択	14
8.1. ネットワーク接続デバイス	14
8.1.1. メインウィンドウ上でネットワーク設定を実施	14
8.1.2. ファイルを直接編集してネットワーク設定を実施	15
9. Epson Scan 2 の機能説明	16
9.1. スキャナー	16
9.2. 基本設定	16

9.3.	拡張設定	22
9.4.	保存形式	24
9.4.1.	保存形式の設定画面	25
9.4.1.1.	JPEG	26
9.4.1.2.	PDF	26
9.4.1.3.	TIFF/Multi-TIFF	27
9.5.	保存ファイル名	27
9.5.1.	保存ファイル名の設定画面	27
9.6.	保存場所	28
9.7.	プレビューボタン	28
9.8.	スキャンボタン	28
9.9.	環境設定画面	28
9.9.1.	情報タブ	29
9.9.2.	全般タブ	29
9.9.3.	カウンタータブ	29
9.9.4.	省電力タブ	30
9.9.5.	メンテナンスタブ	31
9.9.6.	本体設定タブ	32
9.9.7.	その他タブ	33
10.	コマンドラインの機能について	35
10.1.	設定ファイルによるスキャンの実行	35
10.2.	デフォルト設定ファイルの出力	36
10.3.	設定ファイルの作成	36
10.4.	ローカル接続中デバイスリストの表示	37
10.5.	ネットワークデバイスの接続設定	37
10.6.	ヘルプの表示	37
10.7.	デバイスステータスの取得	38

1. 使用許諾契約 (使用条件)

本ソフトウェアは、構成するモジュールにより以下の2つの使用許諾契約に従うことを条件にご使用いただけます。

- GNU General Public License v3
- GNU Lesser General Public License

これらの使用許諾契約に同意いただけない場合には、本ソフトウェアはご使用になれませんのでご注意ください。

ソースに含まれているバイナリファイルの著作権は、セイコーエプソン株式会社が保有しています。これらのバイナリファイルはセイコーエプソンソフトウェア 使用許諾契約書の条件の下で配付されています。

また本ソフトウェアは、無償・無保証で配布いたします。本ソフトウェアの 利用により発生した、いかなる損失・損害についてもセイコーエプソン株式会社では一切の責任を負いません。

2. ソフトウェア概要

Epson Scan 2 は、エプソン製スキャナーと複合機を制御する Linux に対応したソフトウェアです。

独自のフロントエンド提供によりグラフィカルインターフェイスを介して、スキャナーの各種設定を指定可能とし、取り込んだ画像は各種ファイル形式で保存可能です。

USB 接続に加え、ネットワーク接続が使用可能なスキャナーでは、ネットワーク接続でも使用可能です。独自のフロントエンドを介してのスキャナー制御に加えて、コマンドラインからのスキャナー制御も可能です。

3. サポートについて

基本的に本ソフトウェアに関するユーザーサポートは行っておりません。

- スキャナー、複合機の修理または消耗品の購入など、ハードウェアに関する内容につきましては、エプソン販売株式会社にお問い合わせいただきますよう、お願いいたします。

4. 注意／制限事項

- 本ドキュメントは、Epson Scan 2 をお使いいただく上での使用方法、困ったときの対処方法などについて説明しています。
ご使用になるスキャナーについては、スキャナーに添付のマニュアルをご覧ください。

5. インストール／アンインストール方法

5.1. ソフトウェアのインストール

以下のいずれかの方法で、ダウンロードしたパッケージをインストールしてください。

5.1.1. スクリプトによる自動インストール

ダウンロードしたパッケージに含まれるスクリプト(install.sh)をターミナルで実行してください。

```
$ ./install.sh
```

以下のコマンドを入力することでインストールスクリプトについての簡単な説明が表示されます。

```
$ ./install.sh --help
```

5.1.2. コマンドによるインストール

コマンドによりインストールを行う場合は、複数のパッケージをインストールする必要があります。
ターミナルを開き、コマンドラインから本ソフトウェアパッケージのインストールを、明記した順番に実行して下さい。

注)以下は、root 権限で実行する必要があります。

[RPM]

1. コアパッケージのインストール
rpm --upgrade epsonscan2-{ver}-{rel}.{arch}.rpm
2. プラグインパッケージのインストール(ネットワークスキャンやオプションの画像処理機能を使用したい場合)
rpm --upgrade epsonscan2-non-free-plugin-{ver}-{rel}.{arch}.rpm

[DEB]

1. コアパッケージのインストール

```
# dpkg --install epsonsacn2_{ver}-{rel}.{arch}.deb
```

2. プラグインパッケージのインストール(ネットワークスキャンやオプションの画像処理機能を使用したい場合)

```
# dpkg --install epsonscan2-non-free-plugin_{ver}-{rel}.{arch}.deb
```

パッケージの表記に使用している略称は、以下の意味です。

ver: パッケージのバージョン

rel: パッケージのリリース番号

arch: パッケージのアーキテクチャー

※ネットワークスキャンを行うには、ネットワーク接続デバイスの設定を行う必要があります。

参照:[「8.1. ネットワーク接続デバイス」](#)

5.1.3. パッケージマネージャによるインストール

パッケージマネージャを使用して、本ソフトウェアのパッケージをインストール してください。

注)ご利用になる環境(ディストリビューション)によって手順・挙動が異なる場合がございます。

- バイナリパッケージのアイコンをダブルクリックする

ダウンロードしたバイナリパッケージ(.deb/.rpm)を直接ダブルクリックすることでインストールボタンが表示されます。

- バイナリパッケージのアイコンを右クリックする

ダウンロードしたバイナリパッケージ(.deb/.rpm)を右クリックすることで、表示されるメニュー内にインストール実行項目があります。

以下の順番でパッケージインストールを実行してください。

1. コアパッケージ
2. プラグインパッケージ

5.1.4. ソースからのインストール

ソースから Epson Scan 2 をインストールすることが可能です。

cmake によるビルドの方法は以下の手順に従ってください。

* 以下の手順は全てコマンドライン操作で実施します

1. ソースパッケージを解凍し、ソースパッケージ内に移動する
`$ cd epsonscan2-x.x.x-x`
2. ビルドに必要なライブラリのパッケージをインストールする
ソースパッケージ内の `install-deps` スクリプトを実行することで `epsonscan2` のビルドに必要なパッケージが自動的にインストールされる(スクリプト実行時はネットワークに接続してください)
`$./install-deps`
3. `cmake` を実行する
`$ cmake .`

以下の環境変数を指定することが可能

環境変数名	設定内容
EPSON_INSTALL_ROOT	インストール先の指定 (フルパス)
BUILD_TYPE	Release または Debug を指定

4. `make` を実行する
`$ make`
5. `make install` を実行する(要管理者権限)
`# make install`
6. インストール完了

5.2. インストールする際の注意

Epson Scan 2 のインストール中にエラーが発生した場合は以下を参考に再度インストールを行ってください。

- パッケージをインストールする順番が正しくない

対処方法:

[「5. インストール/アンインストール方法」](#)に記載された手順に従ってインストールを行なって下さい。

自動インストールスクリプトを使用することで、自動的に正しい順番でパッケージをインストールします。

- Epson Scan 2 をインストールするために必要なパッケージが不足している

対処方法:

```
$ epsonscan2 depends on libQt5Core (>= 5.2.1); however:
```

```
Version of libQt5Core on system is 5.1.4-1.
```

```
$ epsonscan2 depends on libjpeg8 (>= 8c); however:
```

```
Package libjpeg8 is not installed.
```

コマンドラインからのインストールにて、上記のようなエラーが表示された場合

赤字の不足パッケージを以下のコマンドでインストールし、再度 Epson Scan 2 のインストールをお試し下さい。

[RPM]

```
# yum install qt5-qtbase-5.2-devel
```

```
# yum install libjpeg-devel
```

または

```
# dnf install qt5-qtbase-5.2-devel
```

```
# dnf install libjpeg-devel
```

または (openSUSE の場合)

```
# zypper install qt5-qtbase-5.2-devel
```

```
# zypper install libjpeg-devel
```

[DEB]

```
# apt-get install qtbase5-5.2-dev
```

```
# apt-get install libjpeg-dev
```

※上記コマンドは管理者権限で実行してください。

※上記コマンドはネットワークに接続してから実行する必要があります。

5.3. ソフトウェアのアンインストール

パッケージマネージャ等を使用して、本ソフトウェアのパッケージをアンインストールしてください。または、ターミナルを開き、コマンドラインから本ソフトウェアパッケージのアンインストールを実行して下さい。

注) 以下は、root 権限で実行する必要があります。

[RPM]

1. プラグインパッケージのアンインストール

※プラグインパッケージをインストールした場合のみ行います。

```
# rpm -e epsonscan2-non-free-plugin
```

2. コアパッケージのアンインストール

```
# rpm -e epsonscan2
```

[DEB]

1. プラグインパッケージのアンインストール

※プラグインパッケージをインストールした場合のみ行います。

```
# dpkg --remove epsonscan2-non-free-plugin
```

2. コアパッケージのアンインストール

```
# dpkg --remove epsonscan2
```

6. 画像取り込みの流れ

画像を取り込む手順を簡単に説明します。各ステップでの詳しい説明は、参照先をご覧ください。

1. スキャナーとコンピューターの電源をオンにします。
2. スキャナーに原稿をセットします。セット方法については、スキャナーに添付のマニュアルを参照してください。
3. Epson Scan 2 を起動します。
起動の方法は、コマンドを入力する方法と、メニューから起動する方法があります。
参照:「[7. Epson Scan 2 の起動](#)」
4. [メイン] ウィンドウが表示されます。
複数の機種をコンピューターに接続している場合は、使用するスキャナーを選択してください(1つの機種のみ接続されている場合は、選択する必要はありません)。
参照:「[8. スキャナーの選択](#)」
5. 取り込み装置、イメージタイプ、解像度を設定します。
6. 保存形式、保存場所を選択し、保存ファイル名を入力します。
7. [スキャン]ボタンをクリックして、取り込みを開始します。

7. Epson Scan 2 の起動

Epson Scan 2 を起動するには、以下の 2 つの方法があります。

7.1. コマンドからの起動

コマンドプロンプトで、以下のコマンドを実行します。

\$ epsonscan2

Epson Scan 2 が起動します。

複数のスキャナーを使用できる場合は、スキャナー選択ダイアログから使用するスキャナーを選択してください。

参照: [「8. スキャナーの選択」](#)

7.2. メニューからの起動

メニューに登録されている「Epson Scan 2」のアイコンをクリックします。

※メニューは、ドライバーがインストールされている環境によって異なります。

8. スキャナーの選択

複数のスキャナーが使用可能な場合(ネットワーク上のスキャナーを含む)は、メインウィンドウ上部のスキャナーコンボボックスをクリックすることで使用可能なデバイスの一覧が表示されます。

一覧から使用するスキャナーを選択してください。

8.1. ネットワーク接続デバイス

Epson Scan 2 からネットワーク上に直接接続されているスキャナーに接続するための設定方法を説明します。プラグインパッケージをインストールすることで、ネットワーク上に直接接続されているスキャナーに接続できます。

8.1.1. メインウィンドウ上でネットワーク設定を実施

1. スキャナーをネットワークに接続し、IP アドレスを設定します。
設定手順については、スキャナーに同梱のユーザーマニュアルを参照してください。
2. メインウィンドウ上でのネットワークの設定はネットワークスキャナーの追加ダイアログ上で実施します。
ネットワークスキャナーの追加ダイアログを表示する方法は2つあります。
 - ① 初めて Epson Scan 2 を起動した時
 - ② メインウィンドウ上部のスキャナーコンボボックスをクリックし、そこに表示される「追加」ボタンを押下した時
3. 1.で設定したIPアドレスを、ネットワークスキャナーの追加ダイアログ内のアドレスに入力し「追加」ボタンを押下します。
4. 入力した IP アドレスが、中央の一覧内に追加されたことを確認し、OK ボタンを押下します。
5. メインウィンドウが表示されればネットワークでの接続は正常に完了です。

8.1.2. ファイルを直接編集してネットワーク設定を実施

1. スキャナーをネットワークに接続し、IP アドレスを設定します。
設定手順については、スキャナーに同梱のユーザーマニュアルを参照してください。
2. `/home/.epsonscan2/Network/epsonscan2.conf` に利用するスキャナーの情報を記載してください（.epsonscan2 ディレクトリは隠しディレクトリです）。

表記方法

[Network]

192.168.11.2

#192.168.11.5

*[Network]セクションは自動的に記載されますが、万が一記載されていない場合は必ず追記してください。

その下に IP アドレスを記載します。

1 行に 1 つ IP アドレスを記載してください(2 つ以上記載しても認識できません)。

行の先頭に#を付けることで、その行は無視されます。

3. Epson Scan 2 を起動します。
起動時、ネットワーク上のスキャナーが正しく認識すると問題なく起動します。
このとき、複数のスキャナーが接続されているときは、ローカル接続と同様に使用するスキャナーの選択を行なって下さい。
参照: [「8. スキャナーの選択」](#)

9. Epson Scan 2 の機能説明

[メイン]ウィンドウの設定項目と操作方法について説明します。

9.1. スキャナー

ご使用のスキャナーを選択できます。

[設定]を選択すると、スキャナーとコンピューターの接続方法を設定できます。

9.2. 基本設定

スキャンの方法と、スキャンする画像の仕様(解像度、原稿サイズ、色など)を設定できます。

参考

- ご使用のスキャナーによっては、表示されない項目や設定があります。
ご使用のスキャナーに合わせてこのヘルプをお読みください。
- 選択した機能によっては、スキャンに少し時間がかかります。

■取り込み装置

原稿をセットした装置を選択します。

[自動検知]を選択すると取り込み装置が自動的に選択されます。ただし、スキャナーによっては、[自動検知]を選択できません。

選択肢に表示される[ADF]は、オートドキュメントフィーダーを示しています。

[設定]を選択すると、[取り込み装置の設定]画面を表示できます。

■原稿待ち受けモード

原稿待ち受けモードを設定できます。ADF にセットした原稿を自動的にスキャンする機能です。

[原稿待ち受けモード]にチェックを入れてから、スキャンボタンを押します。ADF に原稿をセットすると自動的にスキャンが始まります。

参考

タイムアウト時間は [取り込み装置]- [設定]- [取り込み装置の設定]- [原稿待ち受けモードのタイムアウト時間(分)]で設定できます。

■取り込み装置の設定画面

原稿待ち受けモードを使用するときのタイムアウトなどの取り込み装置についての設定ができます。

原稿待ち受けモードのタイムアウト時間(分)

原稿待ち受けモードを使用するときの、タイムアウト時間を設定します。

■読み取り面

ADF からスキャンするときの、スキャンしたい原稿の面を選択できます。

参考

この機能は以下の2つを選択した場合に設定できます。

- [取り込み装置]-[ADF]
- [読み取り面]-[両面]

■原稿サイズ

セットした原稿のサイズを選択できます。

参考

- ご使用のスキャナーによっては、表示されない項目や設定があります。
ご使用のスキャナーに合わせてこのヘルプをお読みください。
- 選択中の[原稿サイズ]にマウスカーソルを合わせると、実際の用紙サイズ(長さ × 幅)が表示されます。
- セットしたい原稿サイズがリストに表示されていないときは、[ユーザー定義サイズ]を選択して任意のサイズを設定してください。
- 長尺原稿をスキャンするときに原稿サイズがリストに表示されていないときは、ユーザー定義サイズを作成するか、[自動検知 (長尺)]を選択してください。
- 原稿の長さによって解像度が制限されます。
- サイズの表示単位は、([環境設定])ボタンの[全般]タブで変更できます。

- 自動検知

原稿のサイズを自動的に判別します。

スキャナーや[取り込み装置]の設定によっては選択できません。

長尺原稿には対応していません。

- 自動検知（長尺）

長尺原稿のサイズを自動的に判別します。3,000 mm までの原稿を判別できます。

スキャナーや[取り込み装置]の設定によっては選択できません。

参考

- この機能を使用すると、スキャン速度が遅くなる場合があります。
- スキャンできる原稿の長さの最大値はスキャナーによって異なります。

長尺原稿の仕様について、詳しくはスキャナーのマニュアルをご覧ください。

■ユーザー定義サイズ画面

[基本設定]タブの[原稿サイズ]で[ユーザー定義サイズ]を選択すると、任意の原稿サイズを設定できます。

- 幅/長さ

原稿の幅と長さを入力します。

- 原稿の長さに合わせる

原稿の長さを自動で判別します。

この機能を使うときは、[長さ]は入力できません。

参考

この機能を使用すると、スキャン速度が遅くなる場合があります。

- [閉じる]ボタン

設定を保存して画面を閉じます。

■イメージタイプ

スキャンの目的に合わせて、スキャンした画像を保存するときの色を選択できます。

参考

ご使用のスキャナーによっては、表示されない項目や設定があります。

ご使用のスキャナーに合わせてこのヘルプをお読みください。

- 自動

スキャンした画像の色を自動で判別します。

- カラー
24bit カラー(約 1,677 万色)でスキャンします。
- グレー
8bit(256 階調)のグレーでスキャンします。
- モノクロ
白黒の 2 値でスキャンします。

■解像度

解像度を設定できます。

参考

- 一覧の中に最適な解像度がないときは、任意の値を入力できます。入力できる数値の範囲はスキャナーによって異なります。
- 原稿の長さによっては、300dpi より高い解像度は設定できません。

■回転

原稿を時計回りに回転させてスキャンできます。スキャンする原稿に合わせて回転角度を選択してください。

[文字の向きに合わせる]を選択して原稿をスキャンすると、文字情報から原稿の上下を判別して画像を回転します。ただし、画像のサイズなどによって処理に時間がかかることがあります。

[設定]を選択すると、[回転の設定]画面を表示します。[文字の向きに合わせる]を選択したときの回転方法を設定できます。

■書類の傾き補正

原稿の傾きを補正します。

- チェックなし
補正しません。
- チェックあり(給紙時の傾き)
傾いて給紙された原稿の傾きを補正します。

参考

- この機能を使用すると、原稿の傾いていた部分は白で補正されます。
- この機能を使用するときは、[基本設定]タブの[解像度]を 600dpi 以下に設定してください。
- 傾きすぎている原稿は補正できません。

■スキャン後にページを追加

一度スキャンした後に、別の原稿を追加してスキャンできます。

選択すると、一度スキャンした後に、別の原稿を追加してスキャンできます。

PDF や Multi-TIFF で保存する場合は、スキャンした画像を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

スキャンの完了後、表示された画面で[追加]ボタンを押すと画像を追加できます。

参考

- [追加]ボタンを押して画像を追加するときは、スキャンの設定は変更できません。

■重送検知

複数枚の原稿が同時に給紙されたときに警告を表示するように設定できます。

参考

以下の場合、[重送検知]にチェックを入れても警告は表示されません。

- [基本設定]タブの[取り込み装置]で[キャリアシート]を選択しているとき
- [基本設定]タブの[原稿サイズ]で[プラスチックカード]を選択しているとき

- 設定

[重送検知の設定]画面を表示します。

重送検知の設定画面

[重送検知]の詳細な設定ができます。

参考

ご使用のスキナーによっては、表示されない項目や設定があります。

ご使用のスキナーに合わせてこのヘルプをお読みください。

- 超音波で検知

超音波センサーで重送を検知します。

[検知領域]と[用紙厚設定]を設定すると、検知の精度を高めることができます。

- 用紙厚設定

[超音波で検知]を使うときの原稿の厚さまたは種類を設定します。

- 検知領域

[超音波で検知]で検知する範囲を設定します。

参考

- 原稿内容によっては画像解析に時間がかかり、排紙前に一時停止したり、スキャン速度が遅くなったりすることがあります。
- 原稿の重なり具合によっては重送を検知できないことがあります。
- 端が破損した原稿、不定形の原稿、地の色が濃い原稿の場合は、重送を検知できないことがあります。
- セットした原稿の幅いっぱいに罫線や帯がある場合、または原稿に折り目や縁取りの枠などがある場合は、重送と誤って検知することがあります。
- 原稿が斜めにスキャンされないように、必ず原稿ガイドを合わせてください。

- 閉じるボタン

設定を保存して画面を閉じます。

■白紙ページ除去

原稿の中に白紙ページがあるとき、白紙ページをスキップします。

思い通りに白紙除去できないときは、[白紙ページ除去]で[設定]を選択し、[除去レベル]を調整します。

参考

- 本来必要なページも白紙としてスキップされる恐れがあります。
- 両面原稿を貼り合わせてスキャンするときは、この機能は使用できません。
- [基本設定]タブの[取り込み装置]で[原稿台]を選択したときは、この機能は設定できません。

白紙ページ除去の設定画面

原稿の中に白紙ページがあるとき、白紙ページをスキップします。

- [除去レベル]

白紙ページの判定レベルを調整できます。レベルを強くすると、薄い色が付いた原稿や裏写りした原稿なども白紙としてスキップできます。

- [閉じるボタン]

設定を保存して画面を閉じます。

■背景色

スキャンするときの背景色を切り替えます。

原稿によっては、[背景色]を変更するときれいにスキャンできることがあります。薄紙に印刷された文字がぼやけてスキャンされるときは、[白]に設定してください。

参考

- 以下のいずれかの設定がされているときは、[黒]に設定され変更できません。

[原稿サイズ]: [自動検知]、[自動検知(長尺)]

[書類の傾き補正]

- 以下の設定がされているときは、[白]に設定され変更できません。

[取り込み装置]: [原稿台]

9.3. 拡張設定

[拡張設定]タブでは、スキャンする画像の画質を調整できます。

参考

- ご使用のスキャナーによっては、表示されない項目や設定があります。ご使用のスキャナーに合わせてこのヘルプをお読みください。
- スキャンする原稿の種類によっては、表示されない項目や設定があります。
- スキャンする前に、ハードディスクの空き容量とメモリーの空き容量が十分にあるか確認してください。

- 選択した機能によっては、スキャンに少し時間がかかります。

■イメージオプション

スキャン画像に適用する効果を選択できます。

- ドロップアウト

指定した色をスキャン画像上から除去して、グレーまたはモノクロで保存できます。例えば、マーカーや欄外に色ペンで書き込んだ文字を消した状態でスキャンできます。

参考

[基本設定]タブの[イメージタイプ]で[カラー]を選択したときは、この機能は設定できません。

- 背景除去

原稿の背景を除去できます。

[基本設定]タブの[イメージタイプ]で[カラー]を選択したときは、効果のレベルを選択できます。[強]を選択すると、日光や時間の経過で退色した紙、または色紙などの原稿の背景色を除去できます。

この機能は、背景色が原稿の中で最も明るく均一な色である場合に使用できます。背景色よりも明るい文字やイラストがあったり、背景に模様があったりすると、正しく適用されません。

参考

[基本設定]タブの[イメージタイプ]で[モノクロ]を選択したときは、この機能は設定できません。

■明るさ

画像全体の明るさを調整します。

参考

[基本設定]タブでの[イメージタイプ]の設定、または[拡張設定]タブでの設定内容によっては、この機能は設定できません。

■コントラスト

画像全体のコントラスト(明暗比)を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。

参考

[基本設定]タブでの[イメージタイプ]の設定、または[拡張設定]タブでの設定内容によっては、この機能は設定できません。

■ガンマ

画像全体のガンマ(中間域の明るさ)を調整します。画像が極端に明るすぎたり暗すぎたりするときに、明るさの偏り具合を調整できます。

参考

[基本設定]タブでの[イメージタイプ]の設定、または[拡張設定]タブでの設定内容によっては、この機能は設定できません。

■しきい値

モノクロ2値(白と黒)の境を調整できます。しきい値を上げると、黒色の領域が増えます。逆にしきい値を下げると、白色の領域が増えます。

参考

[基本設定]タブでの[イメージタイプ]の設定、または[拡張設定]タブでの設定内容によっては、この機能は設定できません。

9.4. 保存形式

スキャンした画像の保存形式を選択できます。[詳細設定]を選択すると、保存形式ごとに詳細な仕様を設定できます。

対応している保存形式とその拡張子は以下の通りです。

参考

- ご使用のスキヤナーによっては、表示されない項目や設定があります。
ご使用のスキヤナーに合わせてこのヘルプをお読みください。
- PNM と PNG では[保存形式の設定]で設定できる項目はありません。

■ PNM (*.pnm)

Linux で多くのアプリケーションソフトが対応しているファイル形式です。

■ JPEG (*.jpg)

データを圧縮して保存できるファイル形式です。

圧縮率が高いと画質は劣化し、圧縮前のデータに戻すことはできません。保存のたびに画質が劣化していきます。スキャン後に画像を加工するときは TIFF 形式で保存することをお勧めします。

■ PNG (*.png)

データを圧縮して保存できるファイル形式です。

圧縮によって画質が劣化しません。

■ TIFF (*.tif)

グラフィックソフト、DTP ソフトなど、多くのアプリケーションソフトでデータを交換するために作られたファイル形式です。

■ Multi-TIFF (*.tif)

複数ページを 1 つのファイルにまとめて保存できるファイル形式です。

1 つのファイルにつき 200 ページまで保存できます。

Multi-TIFF 形式のファイルを開くには、Multi-TIFF に対応のアプリケーションソフトが必要です。

原稿の枚数、解像度の設定、ハードディスクの空き容量によっては、スキャンが途中で止まることがあります。

■ PDF (*.pdf)

OS に依存せず、画面表示、印刷結果ともに同様の見栄えが得られる汎用的なファイル形式です。

9.4.1. 保存形式の設定画面

保存形式ごとに詳細な仕様を設定できます。

保存形式

スキャンした画像の保存形式を選択します。
保存形式を選択して、詳細な仕様を設定します。

参考

- PNM と PNG では[保存形式の設定]で設定できる項目はありません。
- ご使用のスキャナーによっては、表示されない項目や設定があります。ご使用のスキャナーに合わせてこのヘルプをお読みください。

[閉じる]ボタン

設定を保存して画面を閉じます。

9.4.1.1. JPEG

■エンコーディング

エンコード(符号化)方式を選択します。

- [標準]

インターネット上の画像を Web ブラウザーで表示するときに、画像の先頭から順次転送して表示する方式です。

- [プログレッシブ]

インターネット上の画像を Web ブラウザーで表示するときに、画像を徐々に精細に表示していく方式です。

ダウンロードの途中で画像のおおよそのイメージがわかるメリットがあります。

■画質

画像の圧縮レベルを設定します。

高画質にするとファイル容量も大きくなります。

9.4.1.2. PDF

■ページ数

1つのファイルに保存するページ数を設定します。

[全ページを1ファイルに保存]を選択すると、全てのページをまとめて1つのファイルに保存することができます。

[指定したページ数ごとに保存]を選択すると、指定したページ数ごとに新規でファイルが作成され、複数のファイルに保存することができます。

■圧縮レベル

圧縮レベルを選択します。

参考

この機能は[基本設定]タブの[イメージタイプ]でカラーかグレースケールを選択しているときのみ適用されます。

■画質

画像の圧縮レベルを設定します。

高画質にするとファイル容量も大きくなります。

9.4.1.3. TIFF/Multi-TIFF

参考

[TIFF]または[Multi-TIFF]のどちらかで設定した内容はもう片方の設定にも反映されます。もう片方の保存形式でスキャンしたいときには設定内容を確認してください。

■圧縮

- [モノクロ]

[非圧縮]または[CCITTグループ4]が選択できます。[CCITTグループ4]を選択すると、画像のファイルサイズを約1/2まで圧縮できます。

9.5. 保存ファイル名

スキャンした画像のファイル名を設定します。

ファイル名の先頭に付ける文字列を直接入力します。

保存名称は64文字まで入力できます。

9.5.1. 保存ファイル名の設定画面

ファイル名の付け方を設定できます。

■連番を入れる

ファイル名にカウンターを追加します。

■同一ファイル名は上書きする

チェックを入れると、同じ名前のファイルが存在するときに、そのファイルに上書き保存します。

9.6. 保存場所

スキャンした画像の保存場所を選択できます。

[その他]を選択すると、[保存場所の設定]画面が表示され、任意のフォルダーを選択または新規作成できます。

9.7. プレビューボタン

プレビューでは、低解像度で仮スキャンした画像を表示して、取り込み範囲を指定したり、画質の調整結果を確認したりできます。

[プレビュー]ボタンをクリックすると、原稿を仮スキャンします。ドライバーの右側にプレビューウィンドウが表示されます。

9.8. スキャンボタン

ボタンをクリックすると、スキャンを開始できます。

9.9. 環境設定画面

各タブで Epson Scan 2 の動作環境を設定できます。

参考

ご使用のスキャナーによっては、表示されない項目や設定があります。
ご使用のスキャナーに合わせてこのヘルプをお読みください。

[閉じる]ボタン

設定を保存して画面を閉じます。

9.9.1. 情報タブ

選択されているスキャナーの情報を確認できます。

9.9.2. 全般タブ

■表示単位

Epson Scan 2 で表示されるサイズの単位を選択します。

■最後に使用した設定を適用する

チェックを入れると、Epson Scan 2 を閉じるときに、各種設定を保存します。
次に起動したときには、最後に使用した設定が表示されます。

■スキャン後、保存フォルダーを開く

チェックを入れると、スキャンが終了した後に、保存先のフォルダーが開きます。

■精細モードを使用する

高画質でプレビューします。チェックを外すと高速でプレビューします。
プレビュー後に画質を調整するときは、チェックを入れることをお勧めします。

9.9.3. カウンタータブ

[カウンター]タブでは、スキャナーの総スキャン枚数や消耗品の状況を確認できます。

参考

ご使用のスキャナーによっては、表示されない項目や設定があります。

ご使用のスキャナーに合わせてこのヘルプをお読みください。

■スキャンカウンター

ご使用のスキャナーでスキャンした総枚数やエラーが発生した回数が表示されます。

■給紙ローラーキット/給紙ローラー/分離ローラー/分離パッド

- スキャン枚数
消耗品を使ったスキャン枚数を表示します。
- リセットボタン
[リセット]ボタンを押すと、各消耗品のスキャン枚数の値をリセットします。
新しい消耗品に交換したときに交換したときに、メッセージに従ってスキャン枚数をリセットしてください。
- 耐用枚数/通知枚数設定
耐用枚数:各消耗品の耐用枚数が表示されます。
通知枚数設定:消耗品の交換時期をお知らせするスキャン枚数を変更します。
スキャン枚数が耐用枚数または[通知枚数設定]で設定した値を超えると、Epson Scan 2 起動時に、消耗品交換のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、新しい消耗品に交換してください。給紙ローラーを交換せずに使用し続けると、複数枚の原稿が同時に給紙されたり、紙詰まりしたりする原因になります。

9.9.4. 省電力タブ

スキャナーを一定時間使用しないときの、スキャナーの省電力機能を設定できます。

参考

- ご使用のスキャナーがネットワーク接続されているときは、この項目は設定できません。

- ご使用のスキヤナーによっては、表示されない項目や設定があります。
ご使用のスキヤナーに合わせてこのヘルプをお読みください。

■スリープ移行時間設定(分)

スキヤナーがスリープモードに移行するまでの時間を、分単位で設定します。

■自動電源オフ設定(分)

スキヤナーの電源を切るまでの時間を、分単位で設定します。

自動電源オフ機能を使用しないときは、[なし]を選択してください。

■非接続時電源オフ

USB ポートを含む全てのポートが切断されると、スキヤナーは 30 分後に自動で電源を切ります。

■ダイレクトパワーオン

スキヤナーが電源に接続されたときに、電源ボタンを押さなくてもスキヤナーの電源をオンにできません。

9.9.5. メンテナンスタブ

参考

- ご使用のスキヤナーによっては、表示されない項目や設定があります。
ご使用のスキヤナーに合わせてこのヘルプをお読みください。

■定期清掃

- 定期清掃を通知
[定期清掃を通知] を選択すると、スキヤナーの内部のクリーニング時期をお知らせします。
- 定期清掃後のスキャン枚数
クリーニング（定期清掃）後のスキャンの枚数を表示します。
- リセットボタン
スキャン枚数をリセットします。定期清掃をしたあとに [リセット] ボタンを押してください。

- 通知枚数設定
クリーニング時期をお知らせするスキャン枚数を変更します。

9.9.6. 本体設定タブ

[本体設定] タブでは、スキャナーの設定を変更できます。

■ガラス面汚れ検知

スキャナー内部のガラス面の汚れを検知するかどうかを選択できます。

汚れを検知するには、[オン(低感度)]から[オン(高感度)]の間でレベルを選択します。

参考

汚れを検知したときにお知らせを表示させるには、この画面で [ガラス面汚れ検知] を有効にして、Epson Scan 2 の [環境設定] 画面 - [通知] タブ - [ガラス面の汚れを通知] を有効にしてください。

■原稿保護

以下の状態を検知したときにすぐにスキャンを停止して、原稿の破損を軽減します。

- 給紙エラーが発生した
- 原稿が傾いて給紙された

レベル	説明
オン(低感度)	原稿の傾きを検知するレベルを下げます。
オン(中感度)	ステープラーなどで綴じられた原稿の傾きや、[オン(低感度)]では検知できない原稿の傾きを検知します。
オン(高感度)	原稿の傾きを検知するレベルを上げます。

重要

- この機能は全ての原稿の破損を防止できるものではありません。

- 給紙の状態によっては、給紙エラーを検知できないことがあります。

参考

原稿、給紙の状態、およびセットしたレベルによっては、この機能は正しく動作しないことがあります。

- プラスチックカードや厚紙をスキャンするときは、[オフ]を選択してこの機能を無効にしてください。
- 誤検知が頻繁に起こるときは、レベルを下げてください。
- 原稿が不定形だったり、斜めにスキャンされたりした場合は、給紙異常と誤って検知することがあります。
- 複数枚の原稿をセットする場合は、原稿の先端を確実にそろえてください。原稿の先端がそろっていないと、正しくスキャンされていても、給紙異常と誤って検知することがあります。
- 原稿が斜めにスキャンされないように、必ず原稿ガイドを原稿に合わせてください。

■重送検知時動作

重送を検知したときの動作を選択します。

- 即時: 重送を検知したときにすぐに給紙を停止します。
- 原稿排出後: 重送と検知された原稿はそのままスキャンされ、次の原稿で一時的に給紙を停止します。スキャンした画像に問題がないときは、スキャンを再開してください。

9.9.7. その他タブ

参考

ご使用のスキヤナーによっては、表示されない項目や設定があります。

ご使用のスキヤナーに合わせてこのヘルプをお読みください。

■Epson Scan 2 を初期設定に戻す

[初期化]ボタンを押すと、ネットワークスキヤナーの設定情報を除くEpson Scan 2の設定を初期化します。

参考

インストールされている全てのスキャナーの設定を初期化します。

10. コマンドラインの機能について

Epson Scan 2 はコマンドラインからコマンド入力により、設定ファイルを使用した画像取り込みができません([メイン]ウィンドウは表示されません)。

10.1. 設定ファイルによるスキャンの実行

スキャン設定ファイルの設定に従い、スキャンを行うには、以下のように“--scan” または“-s”をオプションに指定します。

\$ epsonscan2 --scan [DeviceID|IP Address] [ScanSettingFilePath]

各パラメーターの意味は以下の通りです。

パラメーター	意味
DeviceID IP Address	デバイス ID*もしくは IP アドレスを指定する。 デバイス ID+コロン+バス番号+コロン+デバイス番号で記載することで、同デバイス ID 機種を複数接続して同時にコントロールすることも可能。 例) DS-870:001:003 *デバイス ID/バス番号/デバイス番号は“--list”コマンドで一覧を表示させることが可能。 参照: [10.4. ローカル接続中デバイスリストの表示]
ScanSettingFilePath	スキャン設定ファイル(SF2/sf2 ファイル)のフルパス。空白文字を含むときはダブルクォーテーションで挟むこと。

- 接続されているスキャナーが1つのみの場合、[DeviceID|IP Address] は省略可能です。
- 接続されているスキャナーが複数存在している場合、[DeviceID|IP Address] を省略すると最初に認識されたサポートしているスキャナーを使用します。

指定したスキャン設定ファイルに記載されていないパラメーターの項目や書式が間違っている項目がある場合は、その項目のパラメーターはデフォルト値でスキャンが実行されます。

本オプションが指定された場合、コマンド入力と同時に、読み取り動作が開始されます。

その際の動作は以下の通りです。

- 起動時に、メイン画面の表示はされない。
- ファイル保存が完了後、アプリケーションを終了する。
- スキャン中にキャンセルが行われた場合、アプリケーションを終了する。
- スキャン中にエラーが発生した場合、コマンドラインにエラーメッセージを表示し、その後アプリケーションを終了する。

10.2. デフォルト設定ファイルの出力

デフォルトのスキャン設定ファイルを出力するには、以下のように“--create” または“-c”をオプションに指定します。

\$ epsonscan2 --create

接続中機種でのデフォルト設定値のスキャン設定ファイルをカレントディレクトリに出力します。
ファイル名は“DefaultSettings.SF2”。

10.3. 設定ファイルの作成

スキャン設定ファイルを作成するには、以下のように“--edit” または“-e”をオプションに指定します。

\$ epsonscan2 --edit [ScanSettingFilePath]

各パラメーターの意味は以下の通りです。

パラメーター	意味
ScanSettingFilePath	出力先のスキャン設定ファイル(SF2/sf2 ファイル)のフルパス。空白文字を含むときはダブルクォーテーションで挟むこと。

※Windows の SF2 ファイルとは非互換

本オプションが指定された場合は、Epson Scan 2 起動時に以下の動作となります。

- 起動時に、メイン画面が表示される。
- 「スキャン」ボタンの表示は「保存」ボタンとなり、スキャンの実行ではなく、読み取り設定ファイルの保存を行います。

既存のスキャン設定ファイルが指定された場合には、その内容を読み取り、起動時のメイン画面の設定に反映されます。

10.4. ローカル接続中デバイスリストの表示

ドライバーが認識している(ネットワーク接続デバイス以外の)スキャナーの一覧を表示するためには、以下のように“--list” または“-l”をオプションに指定します。

\$ epsonscan2 --list

サポートしているスキャナーが接続されていない場合、listコマンドは何も表示しません。

10.5. ネットワークデバイスの接続設定

ネットワークスキャンのための IP アドレスを登録するには、以下のように“--set-ip ” または“-i”をオプションに指定します。

\$ epsonscan2 --set-ip [IP]

各パラメーターの意味は以下の通りです。

パラメーター	意味
IP	接続先の IP アドレス。

64 文字より長い IP アドレスは追加できません。

10.6. ヘルプの表示

Epson Scan 2 のコマンドライン機能についての簡単な説明を表示するには、以下のように “--help” または“-h”をオプションとして指定します。

\$ epsonscan2 --help

10.7. デバイスステータスの取得

接続中のデバイスのステータスを取得するには、以下のように“--get-status” または“-gs”をオプションに指定します。

\$ epsonscan2 --get-status [DeviceID|IP Address]

各パラメーターの意味は以下の通りです。

パラメーター	意味
DeviceID IP Address	デバイス ID*もしくは IP アドレスを指定する。 デバイス ID+コロン+バス番号+コロン+デバイス番号で記載することで、同デバイス ID 機種を複数接続して同時にコントロールすることも可能。 例) DS-870:001:003 *デバイス ID/バス番号/デバイス番号は“--list”コマンドで一覧を表示させることが可能。 参照:[10.4. ローカル接続中デバイスリストの表示]

- 接続されているスキャナーが1つのみの場合、[DeviceID|IP Address] は省略可能です。
- 接続されているスキャナーが複数存在している場合、[DeviceID|IP Address] を省略すると最初に認識されたサポートしているスキャナーを使用します。
- デバイスの状態が正常である場合は、コマンドラインには特に何も表示されません。